

注意事項とお願い

1. 装備について

スタート前に AR 日本橋オリジナル規定(*)を含めた下記6点の装備を確認致します。特に5)の反射ベストで規定違反となる場合が散見されますのでご留意願います。

1) 前照灯 2 灯*

2) 尾灯(常時点灯式のものとし点滅式や反射式は不可とする)

3) ベル

注) 以上は常時自転車に固定して装着されたのものとする

4) ヘルメット

5) 蛍光色の反射ベスト(反射たすき、反射肩掛けベルト、非反射部の生地面積の半分以上が蛍光色ではない反射ベストは不可)*

注1) 反射ベストは常時着用のこと。リュックなどを背負う場合は体に着用したベストの他に、リュックにも反射ベストか三角反射材を付けること。

注2) 蛍光色は、イエロー、オレンジ、グリーン、レッド、ピンク、イエローグリーン、オレンジレッド、イエローオレンジの8色に限る。

6) ヘルメット尾灯(点滅可)

2. 新型コロナウイルス感染症防止策について

HPの [BRM601 日本橋 400 参加者専用ページ] にアップされた「新型コロナウイルス感染症防止策について」の3.に記載の防止策を遵守して下さい。

レポート1 (認定外試走 美和 卓 : 5/18(土) 6:00 発)

1. 気象条件

晴れ、最低気温 8℃、最高気温 28℃。全般に南東風(朝方は強め)

2. 概要

PC1の小出駅以降は、JR只見線の経路を忠実に辿るコースです。新緑に映える只見川の清流とそれに架かる只見線の鉄橋をお楽しみください。

大きな登りはPC1からPC2間の六十里越のみであり、それ以降は緩やかに下りながら会津盆地へ向かいます。途中、N252を外れて只見線に沿った側道に入るところでアップダウンあり。

只見線が只見川を渡る8つの橋梁はそれぞれ個性があり、どれも風光明媚です。運転本数が極めて少ないため、列車に出会えたら幸運です。もし出会えたら手を振って見送っ

てあげてください。

3. 区間ごとの感想・注意点

(1) Depart - PC1(JR小出駅)

越後湯沢をスタートし、途中まではN17をひたすら北上するルート。緩やかな下り基調で、かつ、信号も少ない(しかも優先道路なのであまり止められない)快走路です。試走当日はおまけに追い風基調だったため、相当貯金が稼げました。

越後湯沢をスタートしてしばらくの間は、路面に比較的大きなタテ割れが目立つので、タイヤを嵌めてしまわないよう注意してください。

—PC1(JR小出駅) 撮影例—



—PC1(JR小出駅)での只見線列車情報—

試走当日は、駅ホームに出発待ちの只見線車両(キハ110系2両編成)が滞泊中だったため、入場券を購入(改札がないので買わずに入れてしまいます)の上、撮影してきました。ただ、この車両が充当される小出900発の9426Dは臨時列車のため6月1日の運転はない模様です。



(2) PC1 - PC2([只見駅])

N252(六十里越雪わり街道)を走行する、本コース最大のヒルクライムとなります。58km付近の入広瀬村市街地を抜けると、スノーシェッドの連続になりますので、前照灯、尾灯ともに常灯で走行した方がよいと思われます。

43.8km付近進路左側のローソン、その1km先のセブンイレブン(但し進路右側)が、六十里越前最後のコンビニとなります(というより、この先162km付近右側のファミリーマートまでコース上にコンビニはありません。補給ポイントとしては56.9km付近に「道の駅いりひろせ」がありますが、朝早く通過となる場合、店舗が開店していないと思われるため、補給食が必要な場合には、ここで済ませた方がよいと思われます。

只見線は、71.9km右側に僅かに見える隧道入口から長大トンネルに入り見えなくなります。この地点の標高は455mですが、鉄道はこれ以上の急傾斜を走行できないためです。ということで、この辺りから斜度がキツくなり、最大9%程度が出現するようになります。

77.3km付近の隧道入口が県境です。ここから長大トンネルと長大スノーシェッドが連続しますが、コース最高標高750mあたりで緩いアップダウンを繰り返すのみとなりますので、スノーシェッドの隙間からの景色を楽しみながら走行してください。

六十里越のピーク手前に1箇所、通過後2箇所の、片側交互通行箇所(自動信号制御)があります。



77.3km付近の隧道入口

80.1km付近(進路右側なので渡る際は注意)に、「六十里峠開道記念碑」の建つ展望スペースがあります。記念碑を揮毫しているのは、かの田中角栄。新幹線や関越道だけでなく、六十里越建設にも関わっていたことが分かります。ここから田子倉湖を見下ろす景色は絶景。

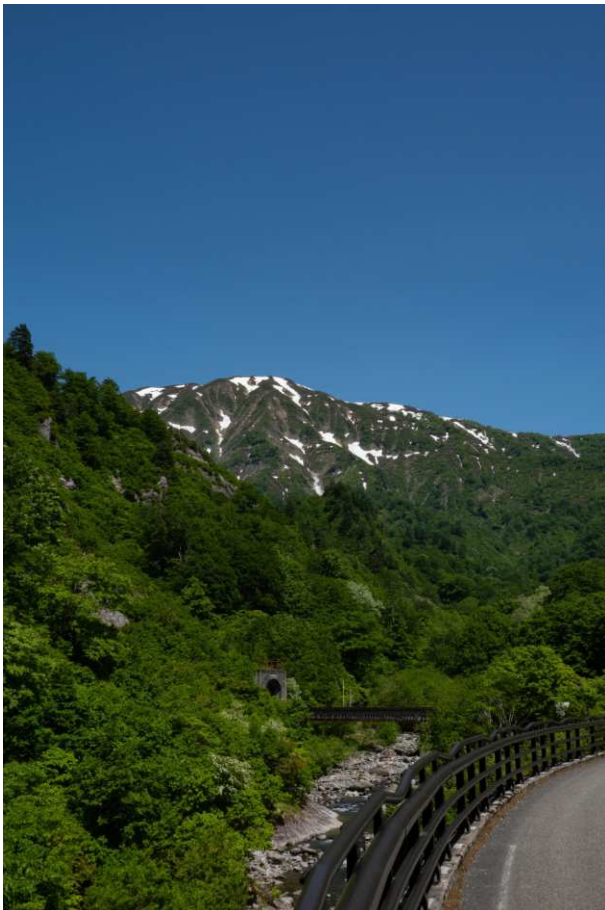


六十里峠開道記念碑



記念碑から見下ろす田子倉湖

84.6km付近で只見線が長大トンネルを抜け、一瞬明かり区間を走行します。進路左側駐車スペースにはトイレがあります。また、その少し先、84.9km付近が廃駅となった田子倉駅跡。進路右側のバラック小屋ように見えるのが駅舎ですが、ホームは階段を下った先だったようです。なお、ここから短い登り返しがあります。



84.6km 付近。長大トンネルを抜けた只見線

—PC2 JR 只見駅 撮影例—



—PC2 (JR 只見駅) の様子—

ちょうど、小出駅で見送った 9426D が到着したばかりのタイミングだったため、比較的多くの乗客がおりましたが。開催当日は同列車の運転がないため、人か

げはまばらかもしれません。同駅は券売機等もなく、入場券が買えなかったため、構内に入らせてもらいました。この後、写真の列車は、小出方面に出発して行きましたが、時刻表上の該当列車はないため回送列車だったと思われます。



只見駅での回送列車

駅舎から少し西方向に離れていますが、只見駅には転車台が残されています(下の写真は 2017 年 11 月 3 日撮影)。これを利用して SL の観光列車を走らせれば集客力は大きいと思うのですが、JR 東日本は、只見駅自体を棒線駅化し入替線も撤去することを計画しているとの話もあるようです。



只見駅の転車台

(3) PC2 - PC3 (道の駅 尾瀬街道 みしま宿) その 1

只見川に架かる只見線の鉄橋をくまなく巡ることができる区間となります。また、第 5 只見川橋梁と第 4 只見川橋梁の間の会津川口駅までの区間は、2011 年新潟・福島豪雨の影響で、複数の橋脚が流出したため、昨年まで不通となっていた区間です。

只見川橋梁が現れる前に、99.9km 付近で「叶津川橋

梁」を通過します。只見川にそってループしながら、只見川に注ぐ支流の叶津川を渡る結構な長さの橋梁であり、撮り鉄の間では人気の撮影スポットとなっています。



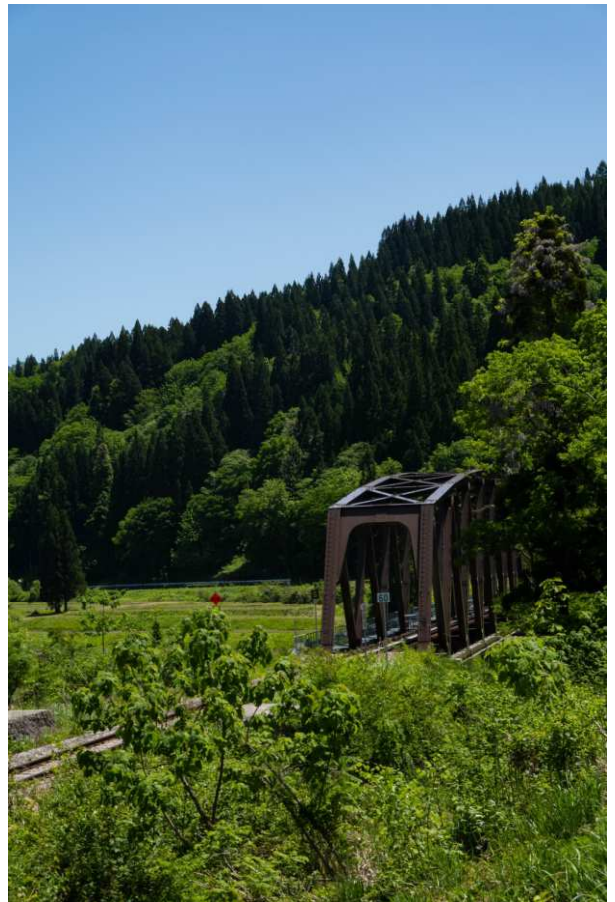
叶津川橋梁

最初に出会う只見川橋梁は「第8只見川橋梁」。一見すると川を渡河していないようにも見えますが、川の左岸を掠めるように渡っています。第8橋梁は豪雨被害を免れましたが、復旧時には今後の被災を防ぐため線路路盤の嵩上げ工事を行ったと聞いております。104.7km 付近奇岩橋(やどりいわばし)から眺められます。写真を撮影する際は、路肩狭小のため通過車両には十分注意。



第8只見川橋梁

第7只見川橋梁は、111.4km 付近で一旦 N252 を離れ、市道で只見線を辿った先にあります。橋梁手前112.8km 付近には只見線をタダ見するカカン数体が置かれており、遠目には人だかりがあるように見えますのでなかなかシュールです(驚いて落車しないように)。



第7只見川橋梁



只見線をタダ見するカカン数体

124.1km 付近から見える第6只見川橋梁は、福島豪雨最大の悲劇の現場と言えるかもしれません。橋梁背後の本名ダムが許容量を大幅を超える豪雨によって決壊しそうになったため、緊急放流を実施した結果、前面にあった橋脚を押し流してしまったという経緯があります。したがって現在の橋梁は新規に架橋されたものとなります。122.6km 付近からコースが長大トンネルに入りますので、トンネルを抜けた先、只見線のガードを潜ってすぐ現れる橋の右側に渡ると、撮影スポットです。



第6只見川橋梁(125.8km 付近)



第6只見川橋梁(別ショット)

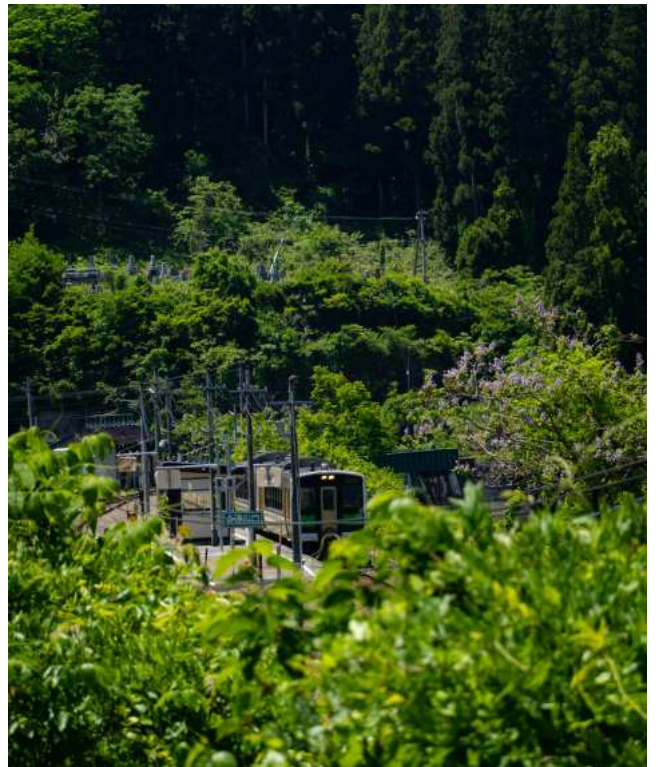


復旧前(2017年当時)の第5只見川橋梁の様子。トラス橋自体は無事だったものの、写真右側のガーター橋箇所が豪雨で流出し、只見線の長期不通の要因となった。

(4) PC2 - PC3 (道の駅 尾瀬街道 みしま宿) その2

127.5km 付近進路左側が会津川口駅。同駅で会津若松方面からの区間列車が折り返すことが多いので、同駅に列車が滞泊しているかどうかを確認し、また、その列車の発車時刻を認識しておく(参考時刻表を文末に貼っておきます)、この先、いずれかの橋梁で「待ち伏せ」が可能になります。

当方の試走時には、同駅着 9:43 の 425D が折り返し同駅発 12:29 の列車番号 428D として出発待ちをしておりましたので、この先、いずれかの橋梁で追い抜かれるだろうと想定して走りました(結果は後ほど)



会津川口駅

只見川第4橋梁(132.5km)。鉄道写真としてよく見かける構図であり、列車が通過するタイミングであれば、極めてフォトジェニックな橋梁であると思われます。ただ、通ってみると分かりますが、路肩にほとんど撮影スペースらしきものはないので、車で撮影に来た方は、相当遠方に駐車して歩いてきたものと推測されます。



第4只見川橋梁

第3只見川橋梁(141.3km付近)は、スノーシェッド内の進路右側となるため、注意していないと走り過ぎてしまう恐れがあります。「高清水スノーシェッド」に入り、右側にスノーシェッドの切れ目がある箇所が撮影スポットとなります。道路を渡る際には十分注意してください。



第3只見川橋梁

143.9km付近を左折し、コースが一旦N252から外れますが、只見川橋梁を全てコース上に組み込むための

コース設計者の配慮が感じられます。第2只見川橋梁に辿り着く前のもう一つの見どころを組み込む意図もあったと推測されます。144.7km付近から狭い路地を左前方に登っていくと(入口に案内看板あり)「宮下アーチ三兄(橋)弟」の見えるスポットです。3つのアーチ橋(うち1つが只見線)が折り重なって見えるフォトスポットです。



宮下アーチ三兄(橋)弟

この後、N400に出てしばらく走行した146.0km付近が第2只見川橋梁のビュースポット。当方は、会津川口駅で確認した列車番号428Dの列車がちょうど通過するタイミングで通りかかることができました。



第2只見川橋梁と列車番号428Dの只見線列車

この後再び狭い路地をいくつか通過し、再びN252に戻った直後(但し、N252に戻る手前の道が本コース最急勾配と思われる)がPC3となります。



—第1只見川橋梁ビュースポットの情報—

本PCから歩いて数分(ただし、急勾配のハイキングコースのためクリート付きシューズでの転倒注意)のところに、第1只見川橋梁ビュースポットがあります。鉄道写真や観光パンフレットなどによく登場する構図で橋梁が拝めます。



第1只見川橋梁

(5) PC3 - PC4 (7-11 会津坂下松ノ目店)

PC3を出発した直後に、トンネル、スノーシェッドの連続する箇所があります。本格的なスノーシェッドはこれでほぼ最後となります。

150.6km付近で只見線をフォロと長大トンネル回避のため、コースはN252を一旦離れます。短いですが、アップダウンがあります。



153.7km付近、滝谷郷戸鉄橋のビュースポット

コースは一旦R252に戻りますが、158.9km付近から再びN252を離れます。

キューシート備考にある赤ベコとは、下記の写真です。数百メートル手前に赤ベコの「看板」がある右折箇所があるので間違えないように。ここから約70m先を右折して再び市道に逸れて行きます。会津柳津(やないづ、と読む)の市街は結構な数の観光客で賑わっていますので、徐行して走行してください。

165.8km付近から再び市道に外れ、長大トンネル回避と只見線追走となります。

PC4はセブンイレブンでのレシートチェックとなります。



158.9km右折個所の70m手前の赤べこモニュメント

(6) PC4 - PC5 (本郷大橋 東詰先の下り坂)

既に会津盆地に入っているのでほぼ平坦路が続きます。只見線をできる限り忠実にフォローしていくルートのため何度か踏切を渡ります。そこでタイミングが合って列車に遭遇できればラッキー。当方は185.1km付近、会津高田駅西側の踏切で、臨時列車(快速只見線漫満喫号 9430D)の通過に遭遇する幸運に恵まれました。

本郷大橋を下った先の青看が通過証跡となります



会津高田駅踏切を通過する臨時列車 快速只見線漫満喫号(9430D)



で停止して時刻表を調べると 9:59 に下り、10:00 に上り列車が来る模様。時間があるので少し先に進んで 65.0km 辺りで下り列車に 66.7km 地点の陸橋で上り列車をウォッチできました。写真を撮りながら列車に手を振ると、運転手さんは短く汽笛を鳴らして応えてくれました。



84.9km は只見線の旧田子倉駅跡。かつての駅舎内の写真をご覧ください(23 枚目より

<https://goo.gl/photos/EGkW7nW5r5NoiUYe7>。

(7) PC5 - Arrivéé (NewDays 会津若松店)

ゴールの会津若松駅までは、只見線(及び会津鉄道線)からは少し離れ、当地最大の観光名所である会津若松城(鶴ヶ城)に立ち寄るルートとなっています。

4. 走行記録

- Depart 6:00—PC1 7:14 37.8km 1h14m (Ave. 30.6km/h)
- PC1—PC2 10:30 59.2km 3h16m (Ave. 18.1km/h)
- PC2—PC3 13:15 51.7km 2h45m (Ave. 18.8km/h)
- PC3—PC4 14:45 25.1km 1h30m (Ave. 16.7km/h)
- PC4—PC5 15:46 19.1km 1h01m (Ave. 18.8km/h)
- PC5—Arrivee 16:26 9.5km 40m (Ave. 14.3km/h)
- 所要時間：10h26m

レポート 2 (認定試走 坂東 司：5/25(土) 6:00 発)

1. 気象条件

晴れ、越後湯沢 9℃、只見 18℃、会津若松 10℃

2. 概要

涼しい一日で快適に走れました。只見線の 8 つの橋巡りが目当てでしたが、それらと同じくらい只見川の美しい情景に酔いしれました。美和が詳しくレポートしているので、只見線ウォッチ情報などをお伝えします。

(1) PC1(小出) - PC2(只見)

道の駅いりひろせの案内看板が始まる頃から、時折り中程度の急登が現れるけど、福島県境の六十里越隧道まで比較的穏やかな登坂が続きます。64.0km 地点の大白川駅

(2) PC2 - PC3 (道の駅 尾瀬街道 みしま宿)

只見駅では美和の試走時と同じく只見駅着の臨時列車の到着に立ち会えました。駅舎の西側に只見名物や只見線グッズの店が出ており、只見線の強力な応援団の一員である酒井治子さん(メガネのお姉さん・只見線地域コーディネーター)らがいます。補給食に「枕木バー」はいかがですか。





ランチは、駅近くのマトン・ケバブ・カフェのダムカレー、国道との交差点近くの広場のそば、ゆっくりできるような国道の反対側にある和風レストランまほろばなどがあります。



127.5km 地点の会津川口駅も良い休憩スポットです。試走当日は運良く只見駅を折り返してきた臨時列車に会えました。昼前後だと窓口に委託駅員の大越智貴さんがいるはず。大越さんは只見線の乗り鉄王。2年前の只見線全線再開通時での乗車回数は1,062回でしたが、現在は1,500回を超えたそうです。

駅舎内の観光情報センターで売っている手作りおにぎりはおいしいですよ。駅前のカンケベーカリーのソフトクリームやパン類も名物です。



道の駅みしま宿着は15:50。第一只見川橋梁を16:08に通過する上り列車をキャッチできました。

第一只見川橋梁通過時刻表
Time when the JR Tadami Line train passes (2022/10/1更新)

上り(会津若松方面) Bound for Aizu-Wakamatsu			下り(只見・会津川口方面) Bound for Tadami - Aizu-Kawaguchi		
Aizu Maikata Sta. 会津西方駅	Time to passing the train <通過時刻>	Aizu Hinohara Sta. 会津松原駅	Aizu Maikata Sta. 会津西方駅	Time to passing the train <通過時刻>	Aizu Hinohara Sta. 会津松原駅
6:03	6:05	6:07			
7:39	7:41	7:43	7:26	7:23	7:21
9:16	9:20	9:22	9:04	9:01	8:59
13:01	13:03	13:05			
16:06	16:08	16:10	14:25	14:23	14:21
19:40	19:42	19:44	18:17	18:15	18:13
			21:01	20:59	20:57
			22:59	22:57	22:55

運行状況により、通過時刻・到着予定時刻が変更される場合がございます。なお、運行情報は「JR東日本」のホームページをご覧ください。



(3) PC3 - PC4 (7-11 会津坂下松ノ目店)

160km 地点より柳津市街を進みます。ここでは名物の「あわまんじゅう」を逃さないように。名店ぞろいですが小池菓子舗が筆頭店のもよう。



もし早くゴールしてしまいそうなら、会津坂下の坂

下ドライブインへ寄って早めの夕食はいかがでしょうか。ルートから外れますがN49 沿いにあるレストランで、馬刺し定食や桜焼き肉の定食が見逃せませんぞ。

(4) PC5 - Arrivée (NewDays 会津若松店)

宿泊して翌日に会津若松巡りをするなら、鶴ヶ城などの名所に加え「会津藩主松平家墓所」がお奨め。足場が悪くスニーカー・タイプのSPD シューズでないとツライけど、若松随一のパワースポットです。近くのお秀茶屋の田楽もご賞味を。

ランチはソースカツ丼なら、とん亭や白孔雀食堂などなど、どこもハズレはないです。ソースカツ丼にこだわらない方は、地元民に人気の和風れすとらん・くいしん坊もグッドです。

4. 走行記録

- ・ Depart : 6:05、PC1(小出) : 7:49、PC2(只見) : 11:45、PC3(道の駅みしま宿) : 15:50、PC4(会津坂下) ; 17:41、PC5(本郷大橋) : 18:40、Arrivee(会津若松) : 19:21
- ・ 所要時間 : 13h21m

沿道の名所案内 (後日アップ予定)

試走してみたら幾つかありました。車上から一瞥するもよし、気になるスポットなら休憩がてら見学するのも一興です。

距離 (km)	案内
37.8	JR 小出駅：駅名看板は、魚沼市出身の映画俳優・渡辺謙によるもの。
77.4	六十里越：新潟県中越と福島県奥会津を結ぶ街道の峠で、名前の由来は、実際は六里(24km)であるが険しさゆえに一里が十里にも感じられるほどに厳しい山道であることに由来。
79.4R	雪割り街道展望台：雪食地形の山々、六十里越から下ってきた道のスノーシェッド、眼下の田子倉湖のダイナミックな景観が見もの。
89.5R	田子倉レイクビュー：越後三山只見国定公園の雄大な山々と田子倉湖の眺めを楽しめる。
89.5R	田子倉ダム：首都圏への電力供給のため只見川に建設されたダム(1960 年竣工)。かつてダムの底には林業等で栄えたマタギの里・田子倉集落があった。
97.0	只見駅：1957年(昭和32年)にダム開発専用鉄道として開通、1963年(昭和38年)に国鉄只見線の終着駅として開設された。その後1971年(昭和46年)によりやく新潟県側の大白川駅まで延伸し、会津若松と小出が鉄路で結ばれた。
99.9L	八十里越街道入口：明治末期迄は奥会津と新潟県三条を結ぶ街道が通い、物流や労働力の交流路であった。ラストサムライと呼ばれる長岡藩士の河井継之助は戊辰戦争での敗走にて「八十里越峠」を越したが只見で命を落とした。国道289号「八十里越道路」の建設が進んでいる

	が、難工事が続き開通まであと3年を要するとのこと。
100.0R	叶津川橋梁：半径 250m の曲線を描くのが特徴で、橋梁上では時速 30km の速度制限があり、その「カーブが美しい」と写真愛好家たちに好評。
101.9	蒲生岳：標高 828m の鋭峰。低山ながら険しく尖った山容から「会津のmatterホルン」と呼ばれている。
104.6	第 8 只見川橋梁：新緑を背にした青いトラス橋が映える。
105.7L	河井継之助記念館・河井継之助の墓：「幕末の風雲児」、「長岡の蒼龍」と呼ばれる河井継之助の生涯を紹介する記念館。継之助の生涯は司馬遼太郎作『峠』で世間に広められた。
111.8L	会津大塩駅：のどかな里山の景色の中にぼつんと建つ素朴なたたずまいは、日本の原風景を思わせる。
112.8	第 7 只見川橋梁：橋の下を流れる只見川と、下流に見える集落や水田などの美しい自然風景が広がる。
124.1	第 6 只見川橋梁：本名ダム手前に梁橋され、2011 年の新潟・福島豪雨で最も大きな被害を受けた橋であった。
125.6	第 5 只見川橋梁：国道 252 号から山々と只見川の雄大なコンビが特徴。条件を整えば水鏡のパノラマが現れる。
127.5L	会津川口駅：気候や時間帯などの条件が合えば、駅一帯は川霧に包まれ幻想的な景色が現れる。その情緒豊かな風景から「東北の駅 100 選」にも選ばれた。
128.2L	かねやまふれあい広場：水面に迫る集落、川沿いを走る只見線が生み出す風景は、まさに日本の原風景を感じられる絶景。
129.0L	大志集落：こじんまりとした集落で紅や青色のトタン屋根の様子から日本のスイスと呼ばれている。 元はかやぶき屋根の家屋が連なっていたが只見線を走る SL が吐き出す火の粉による火災を防ぐため、かやぶき屋根にトタン板を被せたとのこと。
133.2	第 4 只見川橋梁：水沼只見線ビュースポットから第四只見川橋梁の全貌を見ることができる。
137.4R	霧幻峡の渡し早戸船着き場：朝・夕に川霧に包まる只見川の幻想的な景色深谷が見もの。
141.3	第 3 只見川橋梁：高清水スノーシェッド内からの眺めは山から山へトンネルを抜け出す列車が見られるスポット。スノーシェッド内は危険なため要注意。
144.8	宮下アーチ三兄弟(橋)弟：「国道 252 号」「JR 只見線」「福島県道 237 号」のアーチ橋 3 つを一度に重ねて見られるスポットで、「宮下アーチ三兄弟」と呼ばれ親しまれている。
146.1	第 2 只見川橋梁：国道 400 号からほぼ水平な視点から橋梁を眺めることができ、特に列車が走る様子は周囲の風景と相まって美しさもひとしお。
148.7	第 1 只見川橋梁：道の駅みしま宿からビューポイントまで徒歩 5 分など。只見線の魅力を語るうえで代名詞と言って良いほど有名なビュースポット。 只見川が水鏡となって風景が川面に写る姿や、水面から川霧が立ち橋梁を包む幻想的な景観が見られる。なお、ビューポイントは 3 カ所あり、頂上までは約 10 分ほど尾根を登る。

159.3R	圓滿山月光寺(斜め右 300m) : 本堂の裏側に只見線の線路が伸びていて、春には線路脇に咲く桜のトンネルを潜る列車を見ることができる。
171.8	水田と磐梯山 : 青空を映し出す水田のかなたにそびえる磐梯山の景観を楽しめる。
174.1	会津坂下駅 : 駅前に当地出身の昭和の大歌手・春日八郎のブロンズ像が建てられている。冷やしラーメンが同町の名物。
199.8L	鶴ヶ城 : 赤瓦と白い城壁が美しい名城。戊辰戦争での激しい猛攻での落城のすえ取り壊されたが、1965年の再建された。
202.2	会津若松駅 : 会津の玄関口となる駅。鶴ヶ城を模した駅舎が特徴。白虎隊自刃の地・飯森山を見つめる白虎隊士像が出迎えてくれる。

物販のご案内

ゴール受付会場にて販売します。

1. ミニ三角リフレクタ(AJ 神奈川製作・日本製)

・販売価格 : 700 円/枚



2. 支払方法 : いずれも現金またはペイペイ(注)にてお支払い下さい。現金の方はつり銭のないようご用意願います。

(注)ペイペイでのお支払いについて

- ・paypayでのお支払いは、PayPay マネーのみ受け付けします。PayPay マネーライトでは受け付けできませんのでご了承ください。
- ・PayPay マネーでお支払に際しては、PayPay のアカウントにおいて本人確認の手続きが必要になります。

【下り】

線名	列車番号	2421D	423D	425D	427D	8429D	431D	433D	435D	437D
	始 発									
只見線	会津若松 発	..	6:08	7:41	13:05	..	17:00	17:42	19:40	21:46
	七日町 "	..	6:11	7:44	13:08	..	17:03	17:45	19:43	21:49
	西若松 着	..	6:15	7:48	13:11	..	17:07	17:49	19:47	21:53
	西若松 発	..	6:16	7:49	13:12	..	17:12	17:50	19:51	21:54
	会津本郷 "	..	6:21	7:55	13:18	..	17:17	17:55	19:57	21:59
	会津高田 "	..	6:27	8:02	13:24	..	17:23	18:01	20:03	22:05
	会根岸 "	..	6:32	8:08	13:29	..	17:28	18:06	20:08	22:10
	新鶴宮 "	..	6:35	8:11	13:32	..	17:31	18:09	20:11	22:13
	若宮 "	..	6:38	8:15	13:36	..	17:34	18:12	20:15	22:16
	会津坂下 "	..	6:47	8:25	13:47	..	17:39	18:16	20:23	22:21
	塔寺 "	..	6:53	8:31	13:54	..	17:46	=	20:29	22:28
	会津本 "	..	6:59	8:37	14:00	..	17:52	..	20:35	22:34
	会津柳 "	----	7:04	8:42	14:05	----	17:57	----	20:40	22:39
	会津戸 "	..	7:12	8:50	14:13	..	18:04	..	20:48	22:46
	会津谷 "	..	7:18	8:56	14:18	..	18:10	..	20:53	22:52
	会津原方 "	..	7:21	8:59	14:21	..	18:13	..	20:57	22:55
	会津西方 "	..	7:26	9:04	14:25	..	18:17	..	21:01	22:59
	会津宮下 "	..	7:38	9:12	14:30	..	18:21	..	21:04	23:03
	会津戸 "	..	7:47	9:21	14:39	..	18:30	..	21:14	23:12
	会津沼川 "	..	7:55	9:28	14:46	..	18:38	..	21:21	23:20
	会津中川 "	..	8:01	9:35	14:53	..	18:45	..	21:28	23:26
	会津川口 着	..	8:05	9:40	14:58	..	18:49	..	21:33	23:31
	会津川口 発	..	8:15	..	15:29	..	19:00
	本名 "	..	8:21	..	15:35	..	19:06
	会津越川 "	..	8:32	..	15:46	..	19:16
	会津横田 "	..	8:39	..	15:52	..	19:23
	会津大塩 "	..	8:42	..	15:56	..	19:27
	会津塩沢 "	..	8:51	..	16:04	..	19:35
会津蒲生 "	..	8:57	..	16:11	..	19:42	
只見 着	..	9:07	..	16:21	..	19:52	
只見 発	..	9:30	..	16:31	..	20:02	
大白川 "	6:22	9:59	..	17:04	18:43	20:44	
入広瀬 "	6:32	10:09	..	17:15	18:53	20:54	
上須原 "	6:37	10:14	..	17:20	18:58	20:59	
越後須原 "	6:44	10:21	..	17:26	19:05	21:06	
越後沼田 "	6:49	10:26	..	17:32	19:10	21:11	
越後広瀬 "	6:54	10:31	..	17:36	19:15	21:16	
越後神出 "	6:58	10:35	..	17:41	19:19	21:20	
小出 着	7:04	10:41	..	17:47	19:25	21:26	
	終 着									
	記 事					※運転日注意				

【上り】

線名	列車番号	422D	424D	426D	428D	430D	432D	434D	8436D	2428D
只見線	小出 発	5:36	..	13:12	..	16:12	17:53	19:59
	越後 神	5:42	..	13:18	..	16:19	17:59	20:06
	越後 沼	5:47	..	13:23	..	16:23	18:04	20:10
	魚沼 田	5:51	..	13:27	..	16:28	18:08	20:15
	越後 須	5:58	..	13:34	..	16:34	18:15	20:21
	上 原	6:04	..	13:40	..	16:41	18:21	20:28
	入 白	6:10	..	13:45	..	16:46	18:26	20:33
	大 川	6:32	..	13:57	..	17:01	18:37	20:43
	只見 着	7:01	..	14:25	..	17:30	=	=
	只見 発	7:11	..	14:35	..	18:00
	会津 生	7:20	..	14:44	..	18:10
	会津 沢	7:27	..	14:50	..	18:16
	会津 大	7:35	..	14:59	..	18:25
	会津 模	7:38	..	15:02	..	18:28
	会津 越	7:45	..	15:08	..	18:35
	会津 川	7:56	..	15:19	..	18:46
	会津 口	8:02	..	15:25	..	18:52
	会津 中	5:31	7:06	8:41	12:29	15:35	..	19:08
	会津 水	5:36	7:12	8:46	12:34	15:39	..	19:12
	会津 早	5:42	7:18	8:53	12:40	15:45	..	19:19
	会津 宮	5:50	7:26	9:00	12:48	15:53	..	19:26
	会津 西	6:00	7:36	9:15	12:57	16:03	..	19:36
	会津 津	6:03	7:39	9:18	13:01	16:06	..	19:40
	会津 原	6:07	7:43	9:22	13:05	16:10	..	19:44
	会津 谷	6:10	7:47	9:25	13:08	16:14	..	19:47
	会津 戸	6:16	7:52	9:31	13:14	16:19	..	19:53
	会津 柳	6:23	8:00	9:38	13:21	16:27	----	20:00	----	----
	会津 坂	6:28	8:05	9:43	13:26	16:31	..	20:05
会津 寺	6:34	8:11	9:49	13:32	16:37	..	20:11	
会津 坂	6:44	8:23	9:57	13:41	16:45	18:27	20:20	
会津 宮	6:48	8:27	10:01	13:46	16:49	18:31	20:25	
会津 鶴	6:51	8:30	10:05	13:49	16:52	18:35	20:28	
会津 岸	6:54	8:33	10:08	13:52	16:55	18:38	20:31	
会津 高	7:00	8:38	10:13	13:57	17:01	18:43	20:36	
会津 本	7:06	8:44	10:19	14:03	17:06	18:49	20:42	
会津 若	7:11	8:50	10:24	14:08	17:11	18:55	20:47	
会津 若	7:13	8:51	10:26	14:09	17:17	18:57	20:48	
会津 日	7:18	8:55	10:29	14:12	17:20	19:00	20:51	
会津 若	7:22	8:58	10:32	14:15	17:24	19:03	20:55	
	終									
	着									
	記事								※運転日注意	